

【記録】令和6年度 第1回徳島県立池田支援学校 学校運営協議会

1 日 時

令和7年6月17日（火） 13：30～16：20

2 場 所

徳島県立池田支援学校美馬分校

3 日程及び会次第

13：00～13：30	受付
13：30～14：00	学校見学（授業参観）
14：00～14：10	休憩
14：10～16：20	学校運営協議会

(1)開会

(2)学校長挨拶

(3)委員自己紹介

(4)役員選出

(5)会長挨拶

(6)協議

①学校経営方針・グランドデザインについて

②学校評価及び学校の取組について

③各委員からの提言等について

(7)各部会における協議

(8)第2学校運営協議会について

(9)閉会

4 協議における委員からの意見・感想

①みまカフェのメニュー価格等について

●委員

●コーヒーと紅茶150円、アップルジュースは100円で価格はそのまま。ケーキのみが200円から210円に値上げになった。原材料が高騰している中、値上げ幅が少ないので、採算は取れているのか心配している。もう少し値上げしてもいいのではないか。

- 事務局 ○ありがたい御意見で感謝している。美馬分校のカフェは、実習の一環として行うため、人件費や場所代はかからない。材料代のみをいただいて運営している状況である。足を運んでくださるそのお気持ちをいただき、もう少し払ってもいいなと思っていただけるカフェにしていく。また、そのお気持ちを生徒や教員に返していただければありがたいし、すごく喜ぶと思う。
- 委員 ●ガラポンの景品（缶バッヂ）は50円で販売している。購入するときに生徒と会話ができる嬉しさ反面、本当に50円で製作できているのか心配している。値上げしてもいいと思う。
- 事務局 ○流通や経済を学ぶ高等学校の販売実習とは違い、みまカフェはお客様が足を運んでくれて会話等をおしたつながりの部分に価値を見いだしている。
ぜひ新規の方の紹介もお願いしたい。
- 委員 ●美馬分校の授業のことを聞きたい。本校とほぼ同じカリキュラムか。
- 事務局 ○自立活動や生活単元学習、作業学習等、本校と同じ名称。授業の組み方や内容は違うがある。
- ②教員不足についての現状**
- 委員 ●本校のPTA総会時に校長先生から、生徒数増と教員の不足を危惧する説明があったが、どの分野で人員が不足しているのか
- 事務局 ○教員の数は、学級数で定数が決まっている仕組みで、法律で決まっている。年度当初は、学級数で教職員の人数が割り当てられているのにもかかわらず、その数に満たないマイナス3名でスタートした。実際のところ正規の教員と講師とで必要な人員が埋められず、県の教育委員会からティチャーズバンクに登録している方に声かけしていただいても足りず、後は自校努力で探している。この状況は、どの学校も同じである。
- 適切な人員配置をして教育活動ができるよう、知り合いの伝手や地元の教員の伝手で声をかけさせてもらっている。
- 非常勤講師なら、という方が本校で3名手を上げてくださった。分校の方でも数名。声をかけるのは無駄ではないと思っている。
- 引き続き、お知り合いの方に伝えていただければありがたい。

- 委員
- 小学校、中学校でも先生が少ないという話は聞くが、なかなか条件の合う人は少ない。ましてや支援学校は児童生徒数が増えている中、中学校から支援学校を選択した者として、この流れはなおさら心配するところである。
 - 支援学校の良さは一貫した教育をしていただけるところ。その重要な部分が教員不足で全うできない、支援学校の良さが活かされないのが残念である。今後も自分自身の問題として考え方をかけていきたい。
 - 65歳を超えて大丈夫か
- 事務局
- 人手不足は、「今足りない」と「未来に足りない」の2つの問題を抱えている。
特に未来に足りないことについては、この地域で教員になりたい子ども達のアプローチをどのように進めていくかと考えていたところ。高等学校では遅い、むしろ中学校世代がターゲットではないか。箸蔵小学校と交流及び共同学習を継続する中で、仕事としての支援学校をどのように伝えていくか、伝える機会はないか考えている。
 - 人手不足解消の喫緊ターゲットはシルバーさんである。60、70代の方で、非常勤講師として御勤務いただいている。
若い人はいない。
 - 年齢制限はなく、県教育委員会教職員課が面接をして合格であれば学校に勤務していただける。問題ない
- ③ 対価やスペースの活用について
- 事務局
- 学校教育のお金、実習のあり方が我々はわからないが、みまカフェの値上げ等の意見は共感できる。すばらしい意見である。
みまカフェに、この事業の成り立ちや運営の指針のようなものを掲示しておけば、教育の視点からのカフェの在り方がお客様にもわかつてもらえるのではないか。
 - 野菜作りにしても差し上げる喜びも大切であるが、学校教育的に難しいのかもしれないが、個人的には対価があってもいいのではないかと思う。お金、対価をいただく喜びも高校生にあってもいいのではないかと思う。
 - 美馬分校のシェアリングスペースについて。この広く空いている教室の活用予定はあるのか。地域に開放することで、地域の方にも知ってもらえる機会になるのではないか。
- 事務局
- 学校で検討協議し、方向性をお示したい。

④教員不足解消のための提案

●委員

- 教員免許がなくてもお手伝いできることはあるのか。また、免許を持っているが、長い期間使っていない人はどのような扱いになるのか知りたい。
- バスのルートと添乗時間を知りたい。

○事務局

- 一般企業に就職して使っていない人も少なからずおられる。また、免許取得をしたが、別の仕事に就いて退職し今は家でおられる人もおられるはず。ティチャーズバンクに登録していただけすることで、お声をかけられる。
- スクールバス添乗員のように免許がなくても働ける職種もある。事務の仕事になり、今は、登校便2名と下校便1名の添乗員が足りていない。登校のみ、下校のみ、登下校両方など様々な働き方が提案できる。
- 登校2時間、下校2時間で、美馬市役所から折り返し、本校まで帰るルートである。
- 今までの掲載場所はハローワークのみ。今年度は、市や町の広報誌に掲載した。本校で、教員を広報したのは初めてであり、新しい人を探すために新しい試みに挑戦している。バスラッピングや吊り広告も考えたが、地域の公共交通機関の運行状況を考えると難しい。広報を見たと連絡をいただくことも出てきており効果はある。

●委員

- スクールバスの添乗は、毎日は大変だが、数名で曜日ごとに分担してお手伝いできる方はいるかもしれない。
- スーパー等に掲示してみてはどうか。

○事務局

- 今年のスクールバスは、バスと運転手2名、添乗員1名込みの委託契約で運行しており、添乗員が3名不足している。
- 下校バスに教員が添乗すると、学校到着が17時過ぎるので会議に出席や教材研究、授業準備もできない状況である。

●委員

- チラシを作ってみまカフェに置いたらどうか。常連客も新規客も来ている。新たなつながりや口コミが期待できるのではないか。

●委員

- 婦人会の役員の半数名は、勤務していることや元教員の方は、地元の学校へ勤務しているので、厳しい状況であるが、婦人会員に声をかけてみる。
- 婦人会の活動は、月2回集まり百歳体操を実施。支援学校の児童とリサイクル活動で箸蔵地域をきれいにする活動をとおして交流をさせていただいている。

- 委員 ● 箸蔵小学校へ月1回火曜日に本の読み聞かせに行っている。
90歳近くでもカブに乗って百歳体操をしに来てくださる元気な方も在籍している。
- 委員 ● 人手不足は以前から教員以上に介護職は深刻である。今は外国の方を対象に募集をかけているが、なかなかうまくいかない。
広報については、ダブルワーク、曜日・時間指定、分業等の色々なレパートリーで押していく方がよい。空いた時間で仕事ができるというところがポイントである。地域のスーパー、道の駅にも広報を出している。確かに就労希望の方の年齢は上がってきてている。
- 施設の方にチラシを掲示することは可能なので、情報発信の手伝いはできる。
- 学校も同じ状況かもしれないが、福祉は、人は減っているが質は上げてほしいと望む家族が多いので、外国の方やICT導入で対応しているが、改善が難しいのが現状である。
- 就業体験や教員免許取得実習に関して、毎年県から協力依頼があり、実習受入可能として回答しているが毎年参加者は0名。先生になる方も少ないのでと感じる。
- 支援学校出身の方を採用して10年以上真面目に働いてもらっている。求人というところで視野を広げていかなくてはいけないと思っている。
- 小学校からの介護体験も賛成である。高校は福祉学科もあるが、就職先が決まっている。博愛会の働きかけもあって障がい者雇用7名である。

⑤就業体験について

- 委員 ● 高等部2年生になって始まる就業体験では、高等部1年生までに生徒の強みを知ってよりよい就業体験先を探してくださっていることに感謝と先生方の苦労がうかがえる。徳島県内だけでなく愛媛県や香川県から入学してくる生徒の就業体験場所や就職先は、どのような形で開拓されているのか知りたい。
- 事務局 ○ 愛媛県や香川県など県外で就業体験が必要になった際には、これまでつながりがあった方へ相談し、紹介していただき、つながりを広げていった。新しくできそうな事業所先には直接出向き、事前調査・情報収集を行い、持ち帰って生徒に合う場所を提供している。
加えて、地元の福祉関係者に大変助けられた。
- 生徒の将来の姿は、保護者との聞き取りや実習体験から自己選択しながら、また実習の数をこなしながら考えていくことが多い。

● 委員

●学校評価のプランについて、素晴らしい点や感想を申し上げる。

1点目：昨年度末に前年度評価と課題を踏まえて次年度の目標を設定したことが一目でわかるようにしてみてはどうかと申し上げた。対応いただいている、今年度どのように進めていくかが読み取れて良い。

2点目：各学部のつけたい力が明確になっている。評価指標がきちんと対応されており素晴らしい。

小学部の「人とかかわる力を高める」ために授業担当者が隨時ミーティングして指導の手立て成果を共有するところ。

児童が人とかかわる力を高めるためにミーティングすることは、この学校の柱「教職員の専門性を高める」ことにつながっている。児童の実践のエピソードを共有することが、教員同士の専門性を高める研修の機会になっている。

中学部をはじめ高等部、美馬分校も、児童生徒につけたい力が設定されているので、その力をつけるために定期的に、成果と課題を共有することが、同時に専門性を高めることにつながっていくのではないか。検討されてもいいかも知れない。

3点目：本校の教職員の専門性を高めるメンターチーム。ABC分析課題分析の手法を学ぶ機会を設定しているが、ここでも可能なら研修の機会で、各学部でつけたい力を高めるための視点で、課題分析ABC分析を実施してもいいかも知れない。

⑥事務局からのお願い

○事務局

○持ち運びができるピザ窯をお持ちのかた御紹介いただきたい。

○土の再利用を高等部で準備中。熱処理やりサイクルの仕方を御存じの方御教授いただきたい。

○箸蔵山荘さまの御協力でさつまいも苗植えをさせていただいた。高等部を中心に、地域貢献活動として草抜き等をさせていただく。秋には、焼き芋を作って季節の单元を実施したい。一度にたくさん焼けるドラム缶が必要であり、お知り合いの方でお持ちの方がいたら御紹介いただきたい。